資料１
令和３年７月30日
第２回男女共同参画推進会議・
女性活躍推進協議会

第５次としま男女共同参画推進プランの将来像について

1. 第1回男女共同参画推進会議において示した、将来像の事務局案について

【原案】

●すべての人が互いの個性を尊重し、共にいきいきと暮らすまち
～ジェンダー平等の実現を目指して～

・条例改正の最大のポイントである「すべての人」
・条例前文の改正部分「互いの違いを理解しあい、～男女の性別にとらわれず、性の多様性を尊重しあい、すべての人がともに生きていける～」から「個性の尊重」「ともに暮らせる」
・条例前文の「その個性と能力を十分に発揮し」と、「ＳＤＧｓ未来都市」の豊島区のあるべき姿「まち全体が舞台の誰もが主役になれる」から前向きで、平易な言葉「いきいき」を使用
・区民･事業者･区が主体的に取り組むことを表現

2. 第1回男女共同参画推進会議において委員が提案した修正案について

修正案の下の記載は、いただいた意見の概要となります。

【修正案】

１．すべての人が互いの人権と個性を尊重し、共にいきいきと暮らすまち
・人権に対する意識は内包されていると思うが、言葉としても明記してほしい。
・将来像の中に人権の概念を示してほしい。

２．すべての人が互いの人権と多様性を尊重し、共にいきいきと暮らすまち
・人権の概念が必要であり、また、個性では１人の人だけを見ることになってしまうため、個性よりも多様性の方が良い。

３．すべての人が互いの多様性を尊重し、共にいきいきと暮らすまち
・多様性を尊重することは、その人の人権を尊重することにもつながると考えられるため､人権と多様性を併記するのではなく､多様性だけに絞った方が良いのではないか。
・様々な概念が同時に出てくると、混乱するかもしれない。

４．すべての人が互いの人権を尊重し、共にいきいきと暮らすまち
・「すべての人」という言葉には多様性が含まれていると考えることができる。実際にそれぞれの人に権利があることを強調して、「人権」の言葉を残したい。

５．人権と多様性を尊重し、共にいきいきと暮らすまち

・あまり一文が長くない方がインパクトがある。

・「すべての人が互いの」を入れてしまうと、全体的に非常に長くなる。

６．互いの人権を尊重し、共にいきいきと暮らすまち

・「すべての人が互いの人権を尊重し」とするのであれば、「互いの人権を尊重し」とするなど、少しずつ短く、簡潔にした方が良い。

７．すべての人が互いの人権と多様性を尊重し、暮らすまち

・「共に」は、「すべての人」と同義であると思う。また、「いきいきと」は形容詞としては良いかもしれないが、なくても良いと思う。

3. 将来像の修正案について

修正案の中から、３つを事務局案として提案いたします。それぞれの案の下には、案が示す将来像の内容を示しています。

【事務局案】

１．すべての人が互いの人権と個性を尊重し、共にいきいきと暮らすまち

これまで豊島区が大切にしてきた人権尊重の姿勢を本プランにおいても示すとともに、その結果として、すべての人が自分らしさを示し、またその自分らしさが尊重されるまちを目指します。

２．すべての人が互いの多様性を尊重し、共にいきいきと暮らすまち

性別や年齢、障がいの有無だけでなく、国籍や価値観の違い、性の多様さなど、お互いの違いを理解するとともに、その違いを尊重し、共に暮らすことのできるまちを目指します。

３．すべての人が互いの人権と多様性を尊重し、共にいきいきと暮らすまち

平和の希求、人権の尊重、住民自治の実現を基本的な理念とし、さまざまな人々と共に生き、共に責任を担う協働・共創のまちづくりを推進してきた区の姿勢を示すとともに、男女共同参画の分野においても人権を尊重し、多様な人々と共に生きていくまちを目指します。